

# 「認知症カフェ」プロジェクト第3回

生涯現役夢追塾  
同窓会

## オレンジサロン支援会開催

### 「認知症カフェ」の愛称「オレンジサロン」を支援

開催日：4月20日(日)11時～14時「はなそらの家」

同窓会の認知症カフェプロジェクトの支援会が、小倉南区朽網の「はなそらの家」で20日11時から開催された。「はなそらの家・認知症カフェ」の愛称「オレンジサロン」には28名の方が参加。

稲留節子施設長(7期)から「認知症を地域で取り組みたい」。北九州市の野瀬昌弘課長から「高齢社会での意欲的な事業としての継続性を期待。」と激励。同窓会からは、ハーモニカで伴奏した香月会長を中心に「月の砂漠」「背くらべ」「夏は来ぬ」などの唱歌をみんなで合唱。認知症メイトの作本氏(6期)の「私は、いつも順調。」を3回唱える心の健康法。さらに「笑いヨガのさわり」を挟んで「我ら人生」を一緒に歌う。介護士さんの嚙下体操のあと昼食。午後からは、「ひまわり太極拳」の指導で皆さんとコミュニケーション。楽しいひと時を過ごした。

「オレンジサロン」は、毎月第3日曜日11時から開催される。会員ボランティア支援をお願いします。

報告 同窓会 香月英彦

#### ○認知症ケアにおける認知症カフェの意味

行きたいときに行く。一人のひととして暮らしの延長線上にある。

本人の主体性、本人と家族の関係性も変える。

カフェのゆるやかなつながりは、本人と家族にとって専門職や地域の第3者理解のある友人として機能する。カフェの存在は、認知症の人と家族の関係  
本人と周囲との関係によい方向の変化を生み出していく。

